

## 令和3年度 学校評価まとめ

内容	項目	肯定的回答率	自己評価まとめ
学校生活	1 生徒は楽しく学校生活を送っている	86%	○学校生活については、8割以上の肯定的回答である。
	2 学校は、いじめや差別のない学校づくりをしている	75%	○いじめや差別のない学校づくりについては、より一層丁寧に取り組んでいく。
教育活動	3 学校行事や教育活動が充実していて、教育的な配慮が感じられる	84%	○教育活動については、概ね8割程度の肯定的回答である。
	4 教育活動全体を通じて、人権意識を高め、差別や偏見を解消しようとする態度を身に付ける指導をしている	82%	○本校の特色である人権教育の推進や、道德教育については、生徒の肯定的回答が特に高い。今後も生徒が学んでいることを実感できるように、教育活動全体を通じて取り組んでいく。
	5 教育活動全体を通じて、生命尊重や思いやりなどの道徳的意欲や態度を身に付ける指導をしている	85%	○一方で、体験学習等の地域と関わりのある活動については、肯定的回答の中でも「当てはまる」と回答した生徒は3割程度となっている。感染症対策のため、体験的活動や校外での活動が減少しているが、工夫して取り組んでいく。
	6 特別支援教育において、学校生活の様々な場面での共同学習や交流、支援に取り組んでいる	76%	○特別支援教育については、生徒理解を基本とし、支援を充実させるとともに、生徒同士のつながりや関わりの機会を工夫する。
	7 学校は、生徒が夢や希望をもち、自ら進路を切り開いていけるよう指導をしている	81%	
	8 体験学習や奉仕活動を通して、地域の伝統文化について学んだり、地域社会に貢献したりしようとする態度を育成している	70%	
	9 学校生活において、生徒が主体的に活動できる場面、機会、取組が設定されている	79%	
	10 部活動では、学習との両立について配慮がなされるとともに、適切な指導が行われている	78%	
学習指導	11 全教科にわたり学習指導は充実しており、学力向上の成果を上げている	72%	○学習指導については、肯定的回答が8割を下回っており、「当てはまる」と回答した生徒の割合が他の項目と比べて低い。
	12 授業は分かりやすいように工夫されている	59%	○各教科において、分かりやすい授業を工夫し、生徒の学習意欲を高めていくとともに、学力向上を目指す。
	13 全教科にわたり生徒が主体的に取り組み、自分の考えや意見をもち、伝え合える学習活動が行われている	74%	○数学・英語における少人数制・習熟度別授業については、教科の特性を生かした指導方法を実施する。
	14 ICT機器の活用により、学習効果や意欲を高めている	68%	○放課後等の補充教室については、生徒の課題に合った内容や運営を工夫する。
	15 少人数制指導や習熟度別授業は学習効果を得ている	74%	
	16 生徒の学力の定着を図るための取組がされている	51%	

内容	項目	肯定的回答率	自己評価まとめ
生活指導	17 学校は生徒の規範意識や挨拶、基本的生活習慣の確立について指導をしている	78%	○生活指導については、安心安全な学校生活を維持する上で必要な指導であることから、今後もあらゆる場面を通じて、保護者の方にも御協力をいただきながら、丁寧かつ継続的に取り組んでいく。
	18 学校・先生は生徒が相談しやすく、誠実に対応してくれる	76%	
	19 学校は体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる	64%	
安全管理	20 生徒は安心安全な学校生活が送れている	86%	○安全管理については、概ね9割近い肯定的回答である。 ○感染症対策は、区のガイドラインに沿って取り組んでいく。 ○生徒が自ら防災や防犯意識をもって行動できるよう、適時適切に安全指導に取り組んでいく。 ○学校の安全・衛生管理については、日常の清掃活動や整理整頓に努め、必要に応じた修繕を行う。
	21 学校では、新型コロナウイルス感染症対策が徹底されている	84%	
	22 学校では、事故、災害、犯罪、不審者等から身を守る指導が適切に行われている	87%	
	23 学校の施設・設備は安全かつ衛生的に管理され、美しく整えられている	85%	
情報発信	24 学校の教育目標や経営方針は分かりやすく伝わっている	65%	○学校の経営方針等については、分かりやすく伝えていく。 ○情報発信については、内容に応じて様々な媒体を活用して発信する。
	25 学校からの便りや情報配信システム、ホームページ等を通じて、学校の取組や生徒の活動、必要な情報がよく分かる	82%	
学校住公民等と保護者の連携・地域	26 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している	78%	○学校公開等については、概ね8割程度の肯定的回答である。 ○感染症対策のため、保護者への公開やPTA活動が減少している。公開や開催に向けて、実施方法や内容を工夫していく。 ○保護者が相談しやすいように、学校からの発信を積極的に行う。
	27 三者面談や保護者会が適切に設定され、生徒の様子を共有できている	87%	
	28 学校は積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしていたりしている	67%	
	29 学校は保護者が相談しやすい環境が整っている	81%	
身に付けさせたい資質・能力	30 子供に身に付けさせたい資質・能力はどれですか。三つまで選んで、番号を○で囲んでください。その他を選んだ場合は、( )に記入してください。	学力・知力63%、協調性・社会性57%、将来を切り開いていく力48%	○保護者の願いは、学力・知力、協調性・社会性、将来を切り開いていく力の順で上位となっている。 ○各資質・能力を身に付けさせるよう、各教科等を主として教育活動全体を通じて取り組んでいく。

※内容は保護対象の表現となっている。

※回答「当てはまる」、「やや当てはまる」、「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」のうち、生徒・保護者・教員の「当てはまる」、「やや当てはまる」を肯定的回答としている。

<学校関係者評価>

※自己評価に対して、学校関係者からの意見は特になかった。

	対象数	回答数	回答率
1年生	133	112	84%
2年生	119	98	83%
3年生	125	111	88%
保護者	366	180	50%
教員	32	16	50%
計	775	517	71%